

# 1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

## 保険・一般常識 試験問題用紙

(2025年1月)

### 注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。  
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効(得点なし)となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外(万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等)は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

### 【問題 1】

火災保険の「物件の種類と判定」に関する次の 1 および 2 のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から 1 つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 「物件の種類と判定」および「一つの建物」について

- ア. 物件の判定において、「一つの建物」ごとに判定を行うのは、住宅物件のみである。
- イ. 併用住宅の付属物置（家財のみを収容する場合も含む）は、一般物件を適用しなければならない。
- ウ. 一般物件において、防火壁により区画された部分（2級または3級の建物が規定の防火壁により2以上の部分に区画されている各々の部分）は、別個の建物として取り扱うことができる。

《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 2. 建物の構造級別について

- ア. 住宅物件（一般建物）において、主要構造部が耐火構造の建物の共同住宅は、M構造となる。
- イ. 工場物件（一般建物以外の屋外設備）において、屋外電気配線設備は、2級と判定される。
- ウ. コンクリート造建物である一般物件（一般建物）の構造級別は、2級となる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

**【問題2】**

次の1～8の記述は、店舗総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険では、保険の対象である建物から発生した火災により第三者の所有物を滅失した際に失火見舞費用保険金が支払われるが、第三者の所有物が動産の場合、その所有者によって現に占有されている物であれば、その者の占有する場所になくても良い。
2. この保険において、火災、落雷、破裂・爆発の事故によって保険の対象に損害が生じ、その復旧にあたり損害が生じた保険の対象の仮修理の費用が生じた場合、保険会社の承認を得て支出した必要かつ有益な費用に対して、修理付帯費用保険金が支払われる。ただし、本修理の一部をなすと認められる部分の費用および仮修理のために取得した物の保険の対象の復旧完了時における価額を除く。
3. この保険において、稿本、設計書、図案は、保険証券に明記しなければ保険の対象に含まれない。
4. この保険において、損害保険会社は、保険金の請求完了日（保険金の支払の請求手続きが完了した日）からその日を除いて30日以内に損害保険会社が保険金を支払うために必要な事項の確認を終え、保険金を支払う必要がある。
5. この保険において、被保険者側に属する者の労働争議に伴う暴力行為、破壊行為により保険の対象に損害が生じた場合、その損害は損害保険金の支払い対象とはならない。
6. 1保険金額で、2以上の保険の対象を包括して保険契約した場合には、それぞれの保険価額の割合によって保険金額を比例配分し、その比例配分額をそれぞれの保険の対象に対する保険金額とみなして支払保険金を算出する。
7. この保険において、除雪作業による事故で保険の対象に20万円以上の損害が生じた場合、その損害は損害保険金の支払い対象となる。
8. この保険において、機械の運動部分または回転部分の作業中に生じた分解飛散の損害は、保険金の支払い対象となる。

## 【問題3】

Aさんは、同一敷地内に所在し、自分が所有する店舗専用のX建物およびY建物を保険の対象として、甲保険会社および乙保険会社に、付保割合条件付実損払特約を付帯して普通火災保険（一般物件）契約をそれぞれ締結していましたが、火災によりこれらの建物に損害が生じました。保険契約の内容および損害の状況は、次のとおりです。

この場合、X建物およびY建物の損害に対して支払われる損害保険金について、それぞれの金額を解答用紙に記入してください。

なお、保険金の算出にあたっての計算は、その都度端数処理を行わないで連乗するものとし、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

	契約時の保険価額	約定付保割合	損害額	罹災時の保険価額 (時価額)
X建物 (甲保険会社)	4,000万円	90%	3,000万円	5,000万円
Y建物 (乙保険会社)	3,000万円	70%	1,000万円	2,500万円

## 【問題4】

火災保険の特殊契約方式に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. 付保割合条件付実損払特約は、普通火災保険（一般物件、工場物件、倉庫物件）に限り付帯することができる。
- イ. 付保割合条件付実損払特約は、耐火構造建物について保険価額の一定割合を付保すれば、その額までは実損額を支払うこととした契約方式である。
- ウ. 火災通知保険特約の保険の対象は、数量の変動有無に関係なく、商品、製品および半製品に限られる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題5】

店舗休業保険、利益保険および営業継続費用保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア．店舗休業保険では、あらかじめ保険の対象の復旧に要すると推定される期間を予想し、保険契約者と協議して損失を担保する約定復旧期間が設定される。
- イ．利益保険において、保険の対象の復旧または営業の継続に対する妨害によって生じた損害は、保険金支払いの対象となる。
- ウ．利益保険では、営業収益の中の営業利益と経常費（変動費）が付保の対象となる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題6】

「地震保険に関する法律」に基づく地震保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つずつ選び、その番号を答えてください。

## 1. 保険の対象および契約方法について

ア. この保険において、居住の用に供する建物と同一の所有にかかる建物の畳、建具その他これらに類する物のうち、建物に付加したものについては、生活用動産に含めて契約する場合に限り、保険の対象となる。

イ. この保険において、生活用動産（家財）を保険の対象とする場合、通貨、有価証券、預貯金証書、印紙、切手その他これらに類する物は、保険契約申込書に明記すれば保険の対象に含まれる。

ウ. 地震保険の保険期間は、最長で5年となる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |



## 2. 損害の認定および保険金の支払いについて

- ア. この保険において、地震の際の地すべりにより、保険の対象である建物自体は全損に至らない場合でも建物全体が居住不能となり、再び居住の用に供する見込みがないなど、建物としての機能喪失の損害が生じたときは、当該建物は「全損」とみなされる。
- イ. この保険では、保険の対象である建物または生活用動産が全損に至らないで保険金が支払われた場合、地震保険契約は終了せず、保険金額は自動復元され、減額されることはない。
- ウ. この保険において、地震等の際に、保険の対象である生活用動産が紛失した場合、その損害は保険金の支払対象となる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題7】

Bさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、建物の保険金額は3,500万円、生活用動産（家財）の保険金額は500万円です。住宅総合保険契約を締結しました。その際、同時に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険を付帯することとし、地震保険契約の保険金額を、建物、生活用動産（家財）とも契約できる最高額で設定しました。

過日、地震に起因する火災により、建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。損害の状況が以下の場合、次の1および2の金額を解答用紙に記入してください。

なお、地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額は、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とします。また、算出した額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

〔損害の状況〕

	建 物	生活用動産（家財）
損害割合	45%	70%

（注）建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

- 地震保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、それぞれいくらになりますか。
- 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）に対して支払われる地震火災費用保険金は、それぞれいくらになりますか。  
なお、支払われない場合は、解答用紙に「なし」と記入してください。

**【問題8】**

次の1～6の記述は、債権保全について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 譲渡担保とは、担保として提供される目的物の権利（所有権）を法律・形式上債権者に譲渡するが、目的物の占有の移転は行わず、債務者が債務を弁済した場合にはその権利を返還するという方法である。
2. 債権が消滅した場合は、質権もこれによって消滅させる必要があるため、質権設定の裏書を抹消する質権設定抹消承認請求書によって手続きをとる。
3. 保険契約者（質権設定者）は、質権が設定されている火災保険契約を解約する場合、債権者（質権者）の承認を取り付けなければならない。
4. 質権設定の対象となる火災保険契約における保険の対象は、担保に供されている不動産に限定される。
5. 1つの保険金請求権に順位のある複数の質権が設定されている場合で、先順位の債権が弁済されたときは、後順位の質権の順位は自動的に繰り上がる。
6. 保険金請求権に質権を設定する方法の長所の1つとして、債権者（質権者）は質権の設定順位に関係なく、確定日付の取得の有無もしくは保険会社への確定日付のある通知が到達した日の順位によって、優先的に保険金を取得することができる。

## 【問題9】

新種保険に関する次の1および2の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その番号を教えてください。

## 1. 賠償責任保険

- ア. 賠償責任保険の施設所有者特別約款において、施設の修理、改造または取り壊し等の工事に起因する損害賠償責任は保険金の支払い対象外である。
- イ. 賠償責任保険（普通保険約款）では、事故により生じた他人の身体の障害または財物の損壊について、被保険者が損害の発生および拡大の防止に努めた後に損害賠償責任を負担しないことが判明した場合において、被保険者が支出した応急手当等の緊急措置に要した費用は保険金支払いの対象とはならない。
- ウ. 賠償責任保険の受託者特別約款では、被保険者が預かって管理している受託物の火災（受託物の自然発火・自然爆発に起因する損害賠償責任を含む）や取り扱い上の過失等により、損壊、紛失、盗難等の事故があった場合、預け主に対して負担する損害賠償責任が保険金の支払い対象となる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 2. 賠償責任保険以外

ア. 組立保険において、分解・解体または取片づけ工事は保険の対象とならない工事である。

イ. 動産総合保険において、船舶や航空機は保険の対象とならない。

ウ. 建設工事保険において、被保険者は、発注者、受注者（元請業者）、下請負人となる専門工事業者等のすべての工事関係者である。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

**【問題 10】**

次の1～5の記述は、自動車保険の対物賠償について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ教えてください。

1. この保険では、記名被保険者と同居する親族（4親等内の血族）までが常に被保険者となる。
2. 被保険者が損害賠償請求権者に対してその損害の賠償をした後に、保険会社から被保険者に支払われる場合で、被保険者が保険会社に対して保険金の支払いを請求することができるとき、保険金請求権は、損害賠償請求権者以外の第三者に譲渡することができない。
3. この保険では、「保険期間中の総支払限度額」が設定され、この金額が保険期間中に支払われる保険金の限度額となる。
4. この保険では、被害者の損害賠償額の直接請求と被保険者の保険金の請求とが競合した場合、損害保険会社は被害者に対して優先して損害賠償額を支払う。
5. この保険において、記名被保険者が被保険自動車を運転中に、台風のため被保険自動車が横転し、他人の自動車を破損させた場合、その破損による損害は、保険金の支払対象とはならない。

## 【問題 11】

保険価額の評価に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 家財の経年減価額を算出する場合、保険証券記載の建物に收容されている家財全体の包括的減価率の設定が難しいため、一般的には個々の家財の詳細の減価基準を設ける。
- イ. 営業用什器・備品の再調達価額の評価方法として、一定の面積（室、面積単位当たり）に收容された営業用什器・備品の数量、価額を基準にして、全体の価額を推定評価する方法がある。
- ウ. 機械の再調達価額の評価にあたっては、当該機械の取引価格を直接把握することは困難であるため、包括的な標準市場価格により判定する。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題 12】

損害保険契約に関する法律知識について述べた次の1および2の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その番号を教えてください。

## 1. 損害保険契約およびその成立と効力

ア. 保険契約は、他の法律に特別の定めがある場合を除き、基本的に保険業法の規定が適用される。

イ. 保険価額とは、「保険の目的物の価額」のことをいい、保険者が支払う保険金の最高限度額となり、また、保険金額との関係において超過保険や一部保険を判断する基準となる。

ウ. 商法上、法定保険価額とは、保険契約締結の際、保険者と保険契約者との間で事前に約定した価額のことをいう。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |



## 2. 保険契約者と被保険者の義務および損害てん補責任

ア. 保険者が告知義務違反によって損害保険契約を解除した場合、不告知の事実に基づかずに発生した保険事故による損害も含めて、損害保険契約解除前に発生した保険事故による損害はてん補されない。

イ. 保険者は、損害の発生または拡大の防止に必要なまたは有益な費用については、いかなる場合でも全額を負担しなければならない。

ウ. 保険法上、てん補損害額は新価基準（再調達価額基準）によって算定することとなっているが、任意規定であるため、損害発生時における時価によって算定することもできる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題 13】

次の1～4の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

- 責任無能力者が第三者に損害を与えた場合、当該第三者が損害賠償を請求するためには、監督義務者が監督上の義務を怠ったことを、当該第三者が証明する必要がある。
- 使用者等の責任に関し、成立要件に「第三者に損害を加えた」ことがあるが、その「第三者」には同じ使用者に雇用される同僚を含まない。
- 不完全履行の場合、債務者側が完全な履行が可能であれば、債権者は受領した不完全な履行を返還し、完全な履行を請求することができる。その際、履行が不完全なことから生じる損害賠償を請求することはできない。
- 民法上、損害賠償額の算定にあたり、適用するか否かについて裁判所の自由裁量が認められているのは過失相殺である。

## 【問題 14】

個人情報保護法に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. この法律では、第三者に個人情報を提供した際、個人データを提供した年月日、当該第三者の氏名または名称等の記録を作成しなければならないが、法令に基づく場合であっても例外ではない。
- イ. この法律では、要配慮個人情報の取得に際し、当該情報が既に国の機関、地方公共団体等により公開されている場合、本人の同意を得る必要はない。
- ウ. 個人情報取扱事業者は、保有個人データについて本人から利用停止を求められた場合、利用停止に多額の費用を要するなど利用停止を行うことが困難で、本人の権利利益を保護するため必要な代替措置を取るときは利用停止をしないことができる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題 15】

次の1～4の記述は、リスクマネジメントについて述べたものです。□にあてはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

1. □ **1** リスクは、オペレーショナル・リスクに含まれない。

《選択肢》

ア. 財務                      イ. 法務                      ウ. 人的

2. ステークホルダーに損害を与える事件・事故のうち、「贈収賄」は □ **2** に損害を与える。

《選択肢》

ア. 株主                      イ. 政府                      ウ. 取引先

3. リスクの評価において、発生頻度は高いが損害額の小さいリスクは、リスクの □ **3** を選択して処理することが合理的な方法である。

《選択肢》

ア. 防止・軽減                      イ. 回避                      ウ. 移転

4. 製造物責任における設計上の欠陥は、「不十分な安全設計」「製品の強度不足」「 □ **4** 」等によって生じる。

《選択肢》

ア. 原材料・部品の不良  
イ. 事故防止装置の不設置  
ウ. 完成検査時の検査不備